



“地域のことは地域で考えよう”

2016年10月27日

## おきぎん県内景況・速報 2016年9月

### 一県内景況は、拡大している一

#### ■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。  
百貨店売上高は前年同月を上回る。  
家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数は下回る。

#### ■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。  
生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

#### ■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数は下回る。  
ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテルが前年同月を上回り、ビジネスホテルは下回る。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)も下回る。

#### ■企業倒産

件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

### 現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2016年9月分)

◎2016年9月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

9月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は雑貨や食料品の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、洗濯機や電子レンジの売上増加などにより前年同月を上回りました。新車販売台数は軽乗用車、小型乗用車などの需要減少から前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は、国や沖縄県発注による工事増などで前年同月を上回りました。建設資材である生コンやセメントはともに前年同月を下回りました。

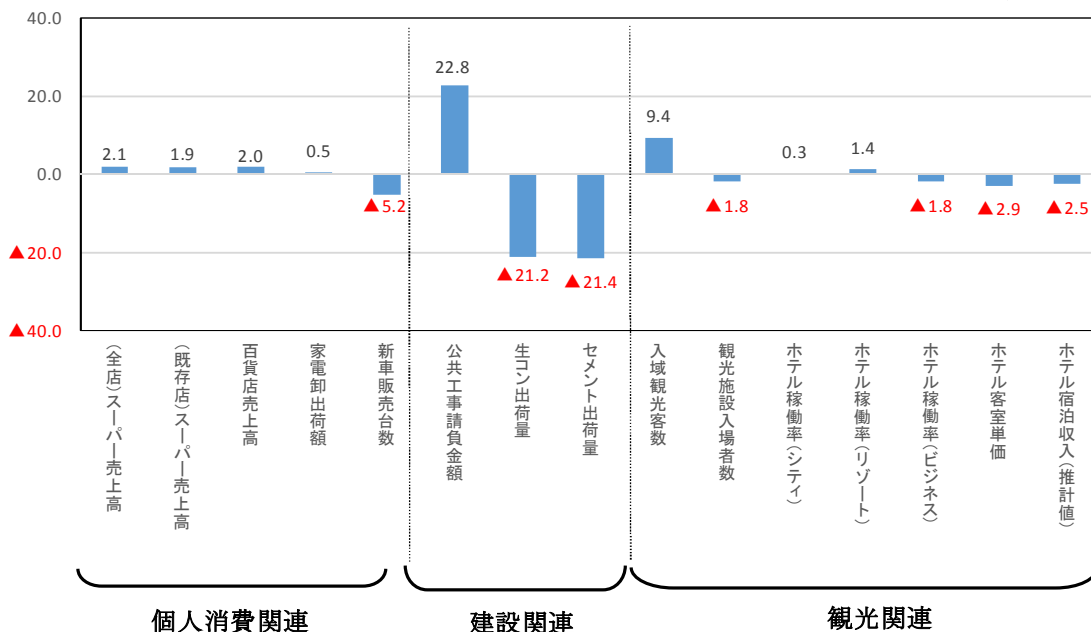
観光関連では、入域観光客数は48ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数は前年同月を下回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテルが前年同月を上回り、ビジネスホテルは下回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)も下回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から32ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位: %、ポイント)



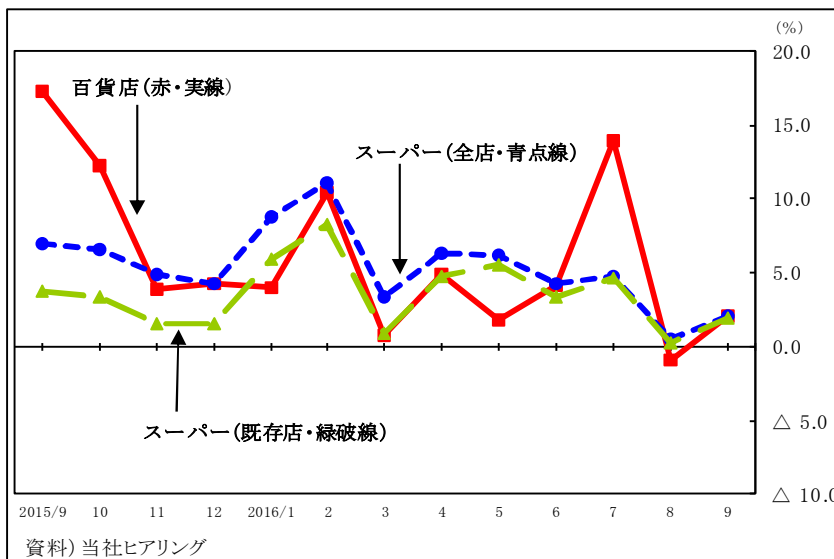


■ 個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2015/9	7.0	3.7	17.3
10	6.6	3.3	12.3
11	4.9	1.5	3.8
12	4.2	1.5	4.2
2016/1	8.8	5.9	4.0
2	11.1	8.3	10.5
3	3.3	0.9	0.7
4	6.3	4.8	4.9
5	6.2	5.5	1.8
6	4.2	3.3	4.1
7	4.8	4.6	13.9
8	0.5	0.2	△ 0.9
9	2.1	1.9	2.0

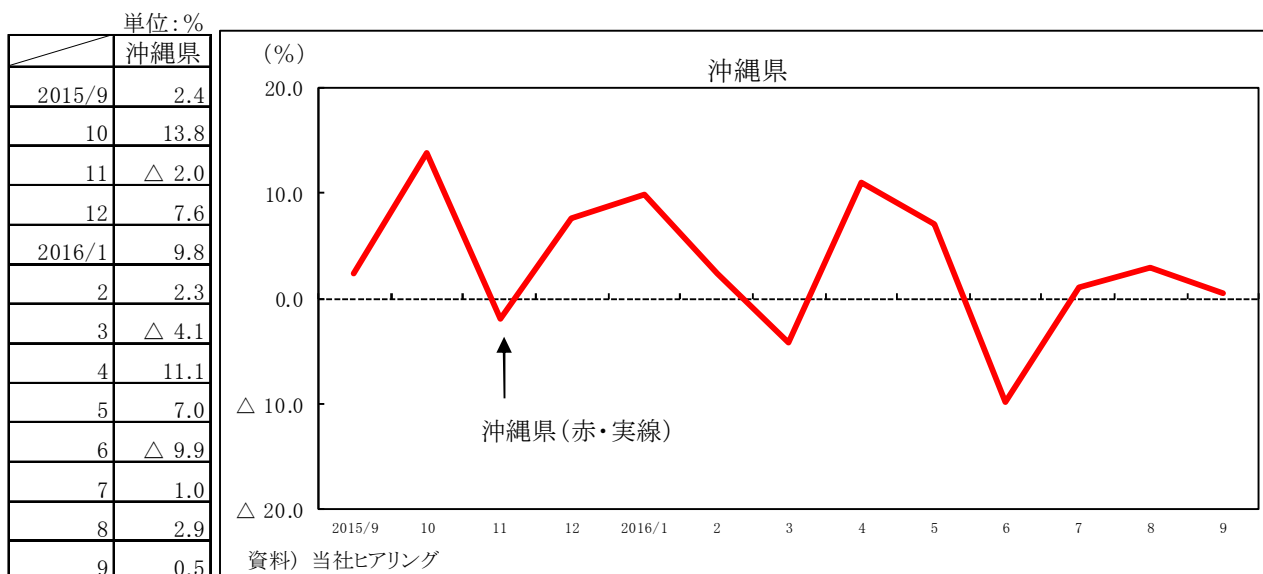


注) 前年同月比

9月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は「**全店ベース(前年同月比 2.1%増)**」が18ヵ月連続で前年同月を上回りました。前年より休日が1日少なかったものの、新規出店効果などによりウェイトの高い「食料品(同 3.1%増)」の売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。「**既存店ベース(同 1.9%増)**」は、台風襲来による一部離島への影響(営業時間短縮や臨時休業)がみられたものの、店舗改装による集客効果などから、18ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同 2.8%増)」は、一部青果(レタス、キャベツなどの葉野菜)で相場高の影響がみられたものの、生鮮(精肉・水産)や惣菜の売れ行きが概ね堅調だったことなどから、前年同月を上回りました。一方で、「衣料品(同 1.0%減)」は、気温が高く推移したことなどから秋物衣料の売れ行きが伸び悩み、前年同月を下回りました。また、家電を含む「家庭用品(同 0.5%減)」は、訪日観光客による雑貨需要(化粧品、小物類)などは堅調だったものの、白物家電(エアコン、冷蔵庫)やテレビなどの売れ行きが前年に伸びた反動などから、前年同月を下回りました。

**百貨店売上高**は、周年企画や物産展開催による集客効果などから、「雑貨」や「食料品」などの売れ行きが好調で、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました(同 2.0%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 2.4%減)」は、主力商品である「婦人服(同 1.0%減)」や「紳士服(4.6%減)」などが、会員限定企画による販促効果がみられたものの、気温が高く推移したことなどから秋物衣料の売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。「身の回り品(7.8%減)」は、敬老の日のギフト需要がみられたものの、前年にあった催事の未開催などから、前年同月を下回りました。一方で、「雑貨(同 7.5%増)」は、主力商品の化粧品が継続的な国内外客需要などから売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。また、「食料品(同 6.3%増)」は、一部青果の売れ行きが落ち込んだものの、生鮮(精肉、水産)や惣菜などの売れ行きが堅調だったほか、物産展の売れ行きが好調だったことも加わり、前年同月を上回りました。

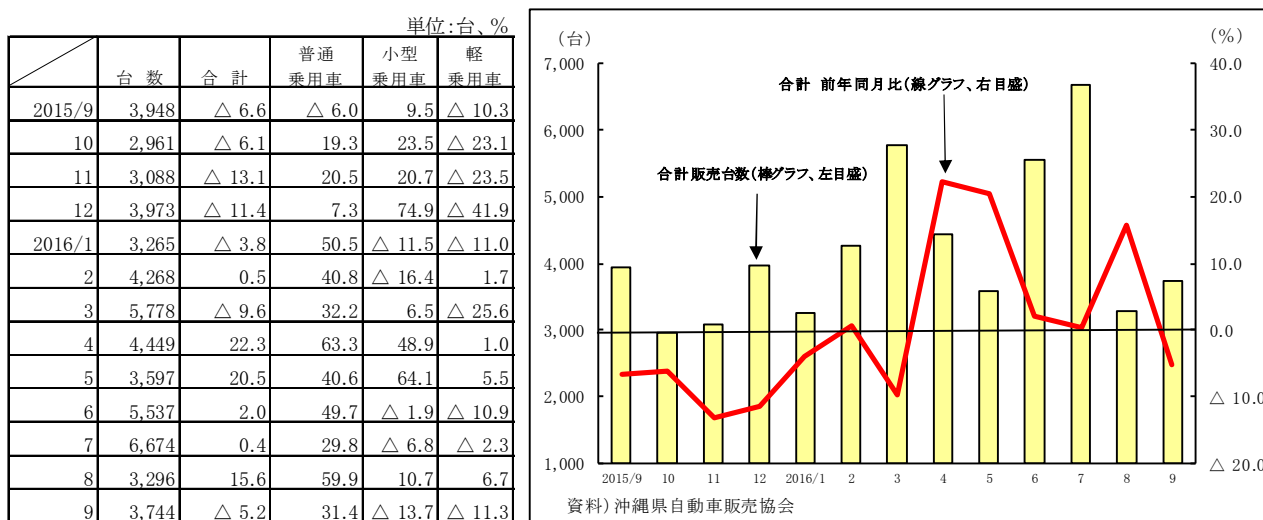
②家電卸出荷額…洗濯機や電子レンジの売上増加などにより、前年同月を上回る。



注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、洗濯機や電子レンジの売上増加などにより、3 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 0.5%増)。品目別では、「洗濯機(同 20.1%増)」、「電子レンジ(同 45.8%増)」、「冷蔵庫(同 0.4%増)」などは、新型商品効果や旧型商品の販促効果などから売れ行きが伸び、それぞれ前年同月を上回りました。一方で、「テレビ(同 3.9%減)」、「エアコン(同 8.1%減)」などは、旧型商品の販促効果がみられたものの、新型商品の売れ行きが伸び悩んだことなどから、前年同月を下回りました。

③新車販売台数…軽乗用車、小型乗用車などの需要減少から、前年同月を下回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

**新車販売台数**は、全体で3,744台(同 5.2%減)となり、6 ヶ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同 31.4%増)」は12 ヶ月連続で前年同月を上回ったものの、「小型乗用車(同 13.7%減)」は前年にレンタカー需要が伸びた反動などから2 ヶ月ぶりに、「軽乗用車(同 11.3%減)」は軽自動車税増税の影響が続いていることなどから、2 ヶ月ぶりに前年同月を下回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

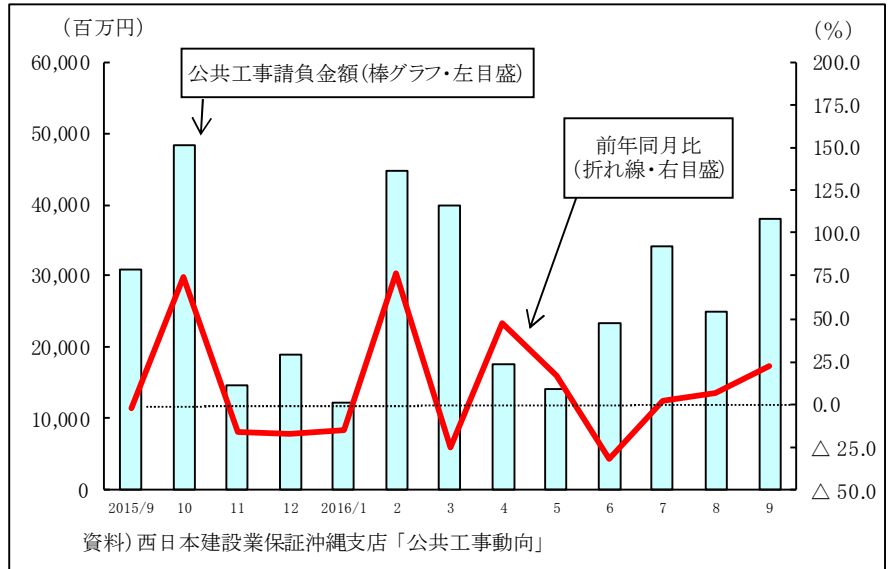


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2015/9	30,835	△2.1
10	48,301	74.7
11	14,816	△15.4
12	19,114	△16.8
2016/1	12,202	△15.0
2	44,788	76.4
3	39,972	△24.7
4	17,690	47.5
5	14,261	16.8
6	23,421	△31.8
7	34,156	2.0
8	24,997	7.0
9	37,867	22.8

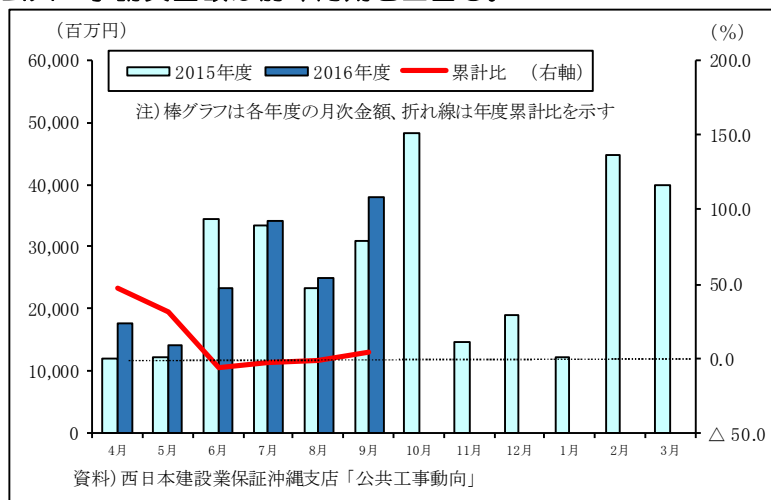


9月の公共工事請負金額は、前年同月比22.8%増の378億6,700万円となりました(3ヵ月連続増)。発注者別でみると、「国(同114.5%増)」は那覇空港滑走路増設埋立工事、「沖縄県(同31.0%増)」は浄化センター関連工事のほか大型工事が積み上がったこと、「市町村(同9.2%増)」は小学校関連工事や市営住宅関連などの大型案件などで前年同月を上回りました。一方、「独立行政法人等(同99.2%減)」や「その他の公共的団体(同72.7%減)」は下回りました。

【参考】公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を上回る。

単位:百万円、%

	2015年度	2016年度	累計比(右軸)
4月	11,991	17,690	47.5
5月	12,215	14,261	32.0
6月	34,358	23,421	△5.5
7月	33,472	34,156	△2.7
8月	23,352	24,997	△0.7
9月	30,835	37,867	4.2
10月	48,301		
11月	14,816		
12月	19,114		
1月	12,202		
2月	44,788		
3月	39,972		

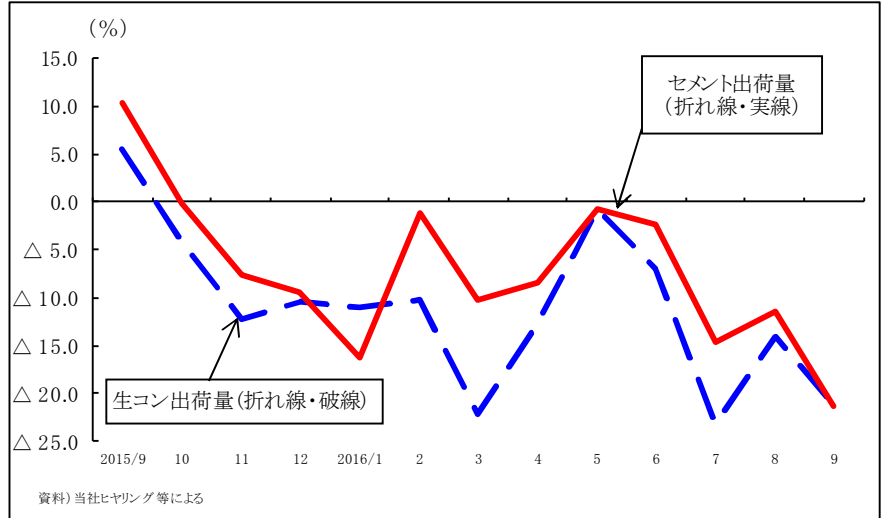


今年度4~9月までの累計を前年度同期と比較すると、4.2%増となっています。(上記折れ線グラフ)

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

単位:前年同月比(%)

	生コン	セメント
2015/9	5.5	10.4
10	△ 4.2	△ 0.2
11	△ 12.2	△ 7.7
12	△ 10.5	△ 9.4
2016/1	△ 11.0	△ 16.3
2	△ 10.2	△ 1.2
3	△ 22.2	△ 10.2
4	△ 12.7	△ 8.4
5	△ 0.7	△ 0.7
6	△ 7.1	△ 2.4
7	△ 23.1	△ 14.8
8	△ 14.0	△ 11.4
9	△ 21.2	△ 21.4



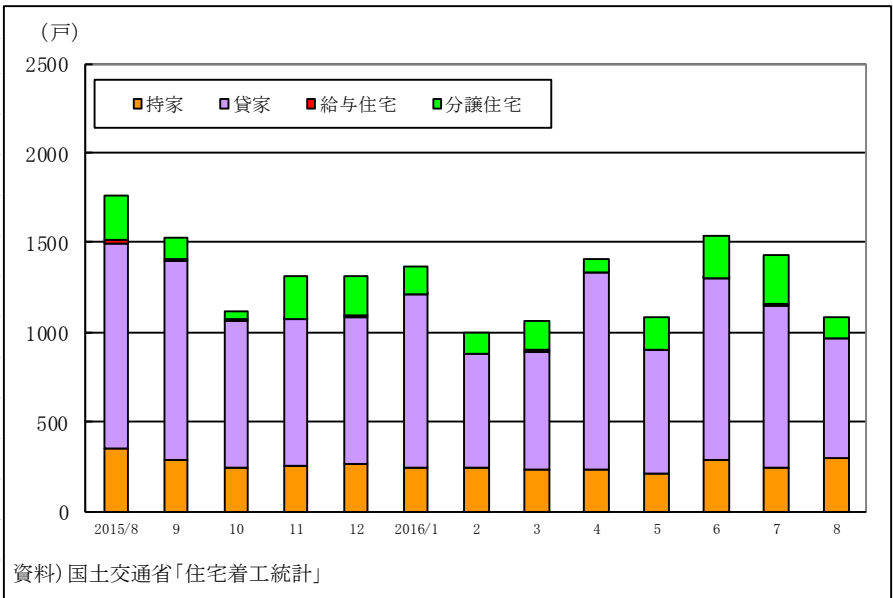
(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は21.2%減少し12ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年あった空港関連の大型工事の反動などで前年同月より39.7%下回り、民間工事向け出荷も7.0%下回りました。**セメント**出荷量も21.4%減と12ヵ月連続で前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資(8月)…着工戸数は前年同月を下回る。

単位:戸、%

	着工戸数	前年同月比
2015/8	1,764	19.0
9	1,527	17.4
10	1,118	9.8
11	1,306	7.4
12	1,306	△4.5
2016/1	1,366	15.7
2	1,000	△25.3
3	1,062	8.4
4	1,409	20.2
5	1,085	△13.5
6	1,535	△16.0
7	1,432	5.1
8	1,082	△38.7

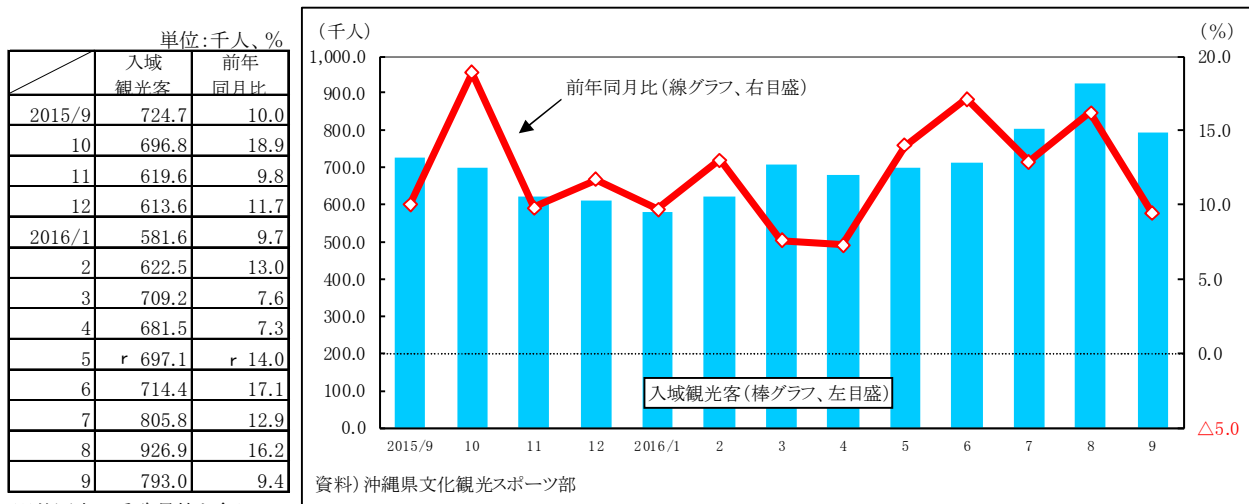


**新設住宅着工戸数(8月)**は、全体で前年同月比38.7%減の1,082戸と2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同41.3%減)」や「持家(同16.4%減)」に加えて、「分譲住宅(同54.5%減)」なども前年同月を下回りました。



■観光関連: (良い)

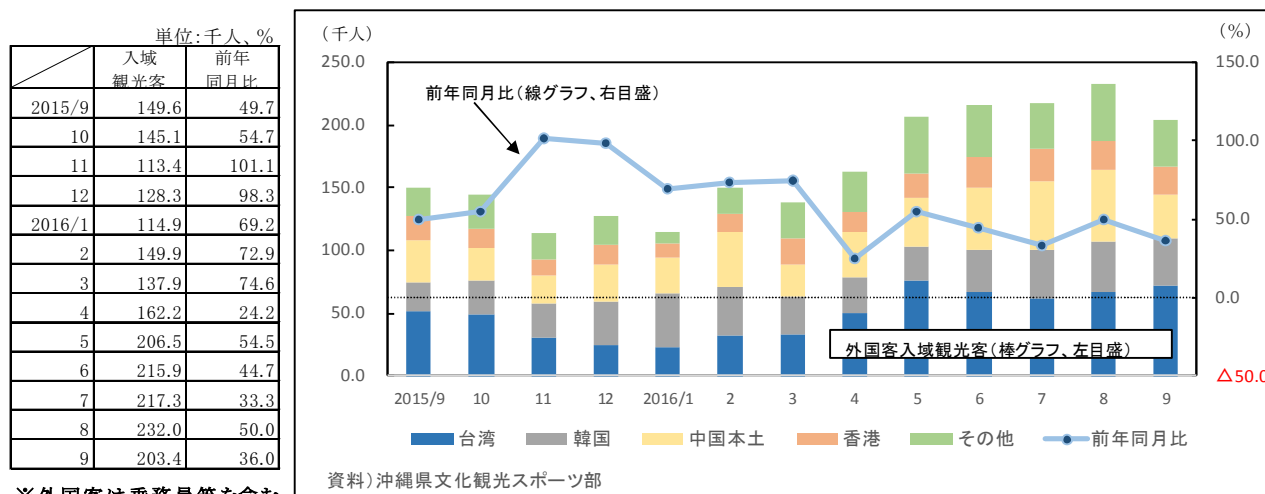
①入域観光客数(国内客・外国客の合計)…48ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

※上記 2016 年 5 月の数値については、沖縄県よりホームページにて数値訂正の公表(2016 年 8 月 19 日付)があったことから遡って修正した。

外国客 入域観光客数…38ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

9月の入域観光客数は、68,300人多い793,000人(前年同月比9.4%増)となり、48ヵ月連続で前年同月を上回りました(9月としては過去最高)。

内訳をみると、「国内客(同2.5%増)」は589,600人と、羽田・伊丹・名古屋ー那覇路線において増便等による航空路線の拡充(深夜便等含む)があったことなどから、6ヵ月連続で前年同月を上回りました。

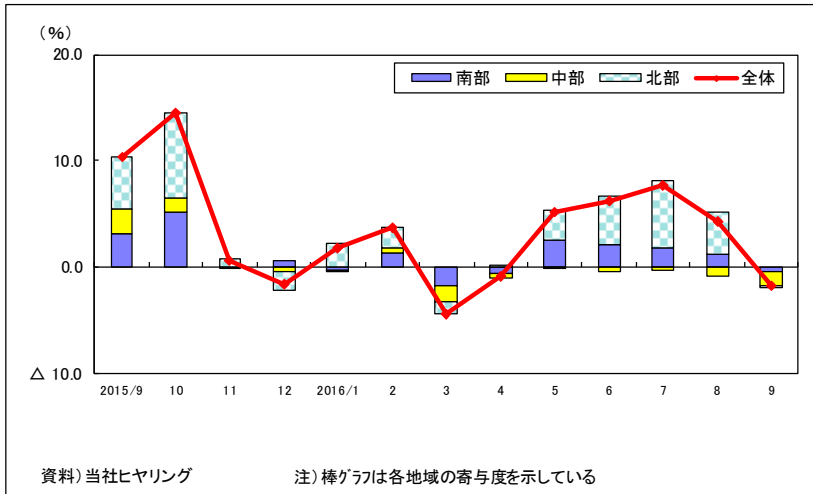
他方、「外国客(同36.0%増)」は、203,400人と38ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数増加等により空路・海路ともに好調に推移したほか、中秋節の連休による旅行需要も加わったことなどから前年同月を上回りました。

「台湾(同39.5%増)」「韓国(同61.2%増)」「中国本土(同5.7%増)」「香港(同12.8%増)」

※乗務員等を除く2016年9月実績=全体765,500人(同8.1%増)、外国客175,900人(同32.5%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…5ヵ月ぶりに前年同月を下回る。

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2015/9	10.3	8.7	21.4	9.0
10	14.4	12.7	9.8	17.2
11	0.6	△0.4	0.3	1.7
12	△1.6	1.4	△3.6	△3.8
2016/1	1.8	△0.7	△1.4	4.6
2	3.7	3.3	3.5	4.0
3	△4.4	△4.6	△11.4	△2.2
4	△0.9	△1.5	△3.0	0.3
5	5.2	6.5	△0.8	5.7
6	6.2	5.2	△3.6	9.2
7	7.7	5.1	△3.1	11.8
8	4.2	r 3.5	△6.9	7.3
9	△1.8	△1.3	△11.0	△0.1

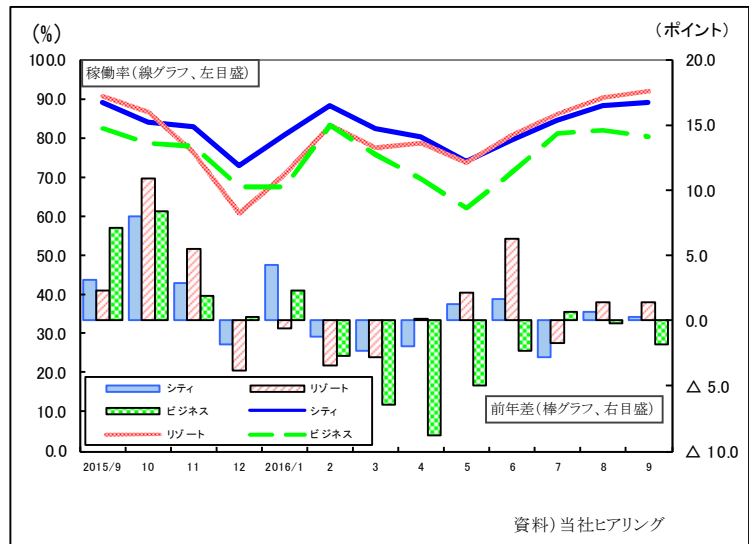


\*調査対象施設数＝南部6、中部6、北部5施設

観光施設入場者数は、全体で前年同月より1.8%減少(5ヵ月ぶり)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同1.3%減と5ヵ月ぶり、中部は同11.0%減と7ヵ月連続、北部は同0.1%減と6ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテルは前年同月を上回り、ビジネスホテルは下回る。

	稼働率(前年同月差)					
	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2015/9	r 88.9	r 90.7	r 82.2	r 3.1	r 2.2	r 7.1
10	83.9	86.7	78.6	8.0	10.8	8.4
11	82.9	76.0	77.6	2.9	5.5	1.9
12	72.8	60.9	67.4	△1.8	△3.8	0.3
2016/1	80.5	70.9	67.3	4.2	△0.6	2.2
2	88.3	83.3	83.4	△1.2	△3.5	△2.7
3	82.3	77.3	75.9	△2.3	△2.8	△6.5
4	80.1	78.6	69.3	△2.0	0.2	△8.8
5	74.2	73.5	62.2	1.3	2.1	△4.9
6	79.6	80.7	71.3	1.6	6.2	△2.3
7	84.4	86.2	81.3	△2.8	△1.7	0.7
8	88.1	90.4	82.0	0.6	1.4	△0.2
9	89.2	92.1	80.4	0.3	1.4	△1.8



注)シティ9ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス7ホテル

注)2015年10月より、シティホテル対象施設数が増(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

注)2016年4月より、リゾートホテル対象施設数が増(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

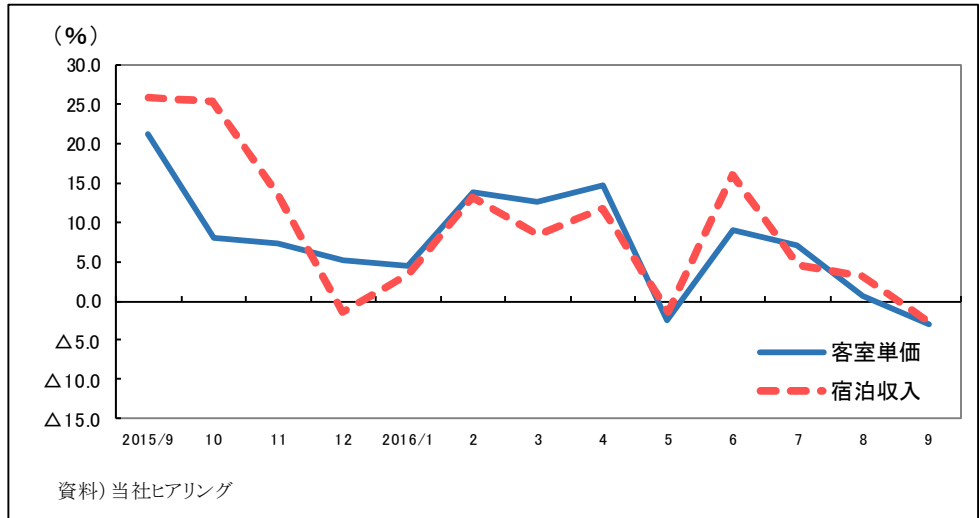
県内ホテル稼働率は、シティホテルが89.2%と0.3ポイント上昇(2ヵ月連続)、リゾートホテルが92.1%と1.4ポイント上昇(2ヵ月連続)、ビジネスホテルが80.4%と1.8ポイント減少(2ヵ月連続)しました。



④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入も下回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2015/9	21.1	25.8
10	8.0	25.4
11	7.3	13.4
12	5.1	△1.3
2016/1	4.5	3.3
2	13.7	13.2
3	12.7	8.5
4	14.7	11.8
5	△2.4	△1.5
6	9.1	16.1
7	7.2	4.6
8	0.7	3.1
9	△2.9	△2.5



※対象施設数: 27施設(シティ9、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は27施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※2015年10月より、シティホテル対象施設数に変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

※2016年4月より、リゾートホテル対象施設数に変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

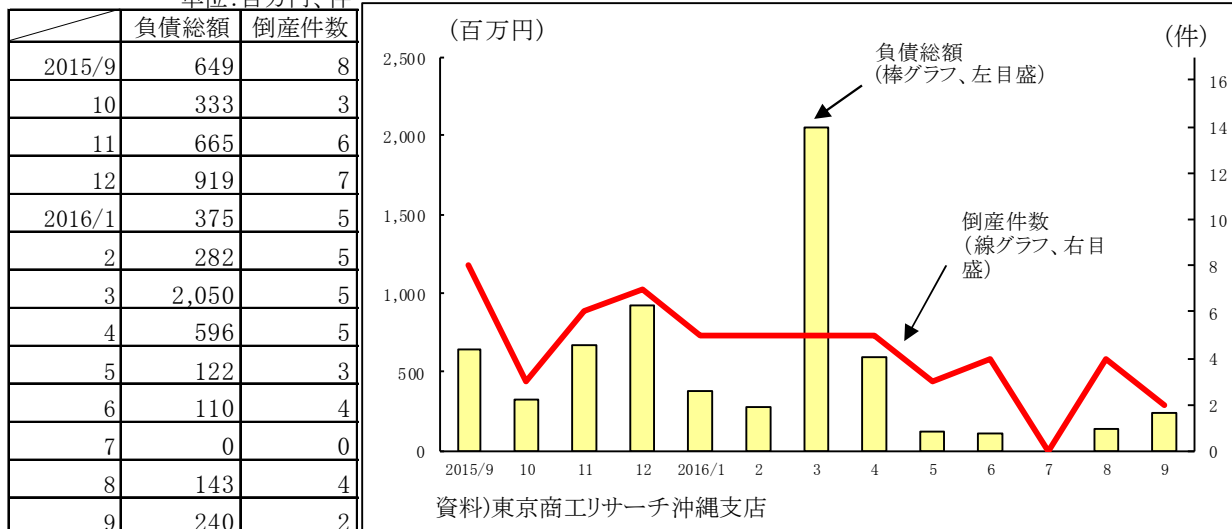
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は前年同月比 2.9%減と前年同月を下回りました。**宿泊収入**も同2.5%減と前年同月を下回りました。


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

単位:百万円、件

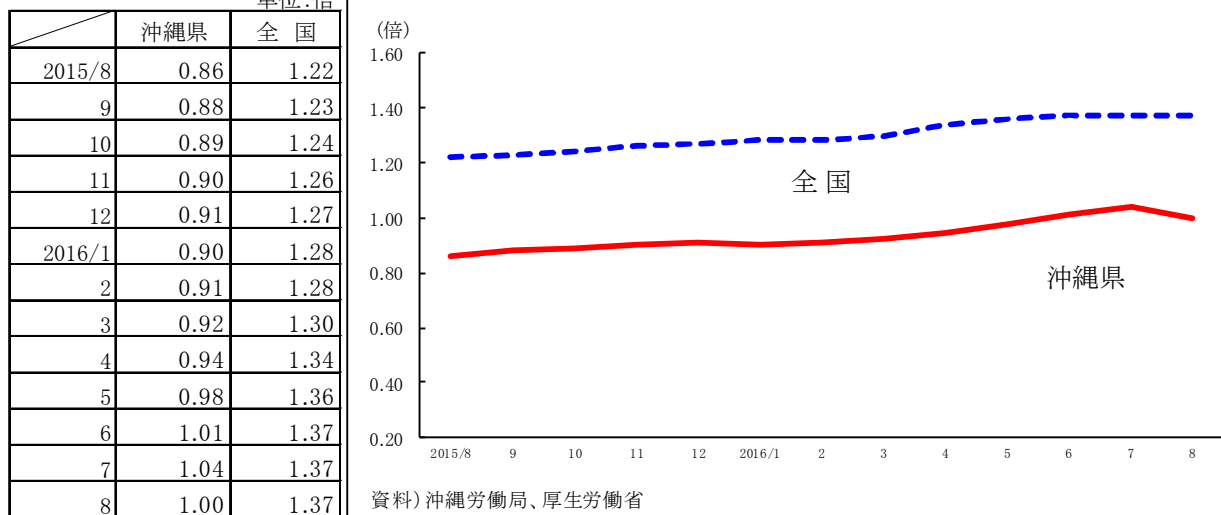


9月の**企業倒産件数**は、2件(うち大口倒産は1件)となり、前年同月より6件減少しました。負債総額は2億4,000万円となり、前年同月より63.0%減少しました。

【参考】雇用関連： (良い)

(参考)有効求人倍率(8月)…沖縄は前月より低下、全国は同数。

単位:倍



注)季節調整済

注)季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

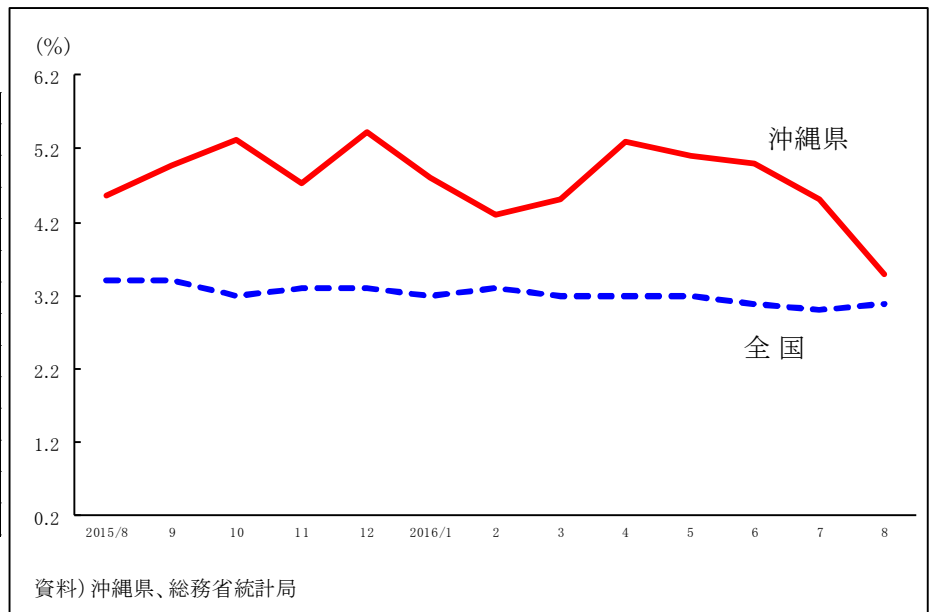
8月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比1.8%減の26,768人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比1.9%増の26,715人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.00倍となり前月より0.04ポイント低下しました。

(参考) 完全失業率(8月)…前月より下落。

単位:倍

	沖縄県	全国
2015/8	4.6	3.4
9	5.0	3.4
10	5.3	3.2
11	4.7	3.3
12	5.4	3.3
2016/1	4.8	3.2
2	4.3	3.3
3	4.5	3.2
4	5.3	3.2
5	5.1	3.2
6	5.0	3.1
7	4.5	3.0
8	3.5	3.1

注) 季節調整済



8月の完全失業率(季節調整値)は、3.5%となり前月より1.0ポイント下落しました。